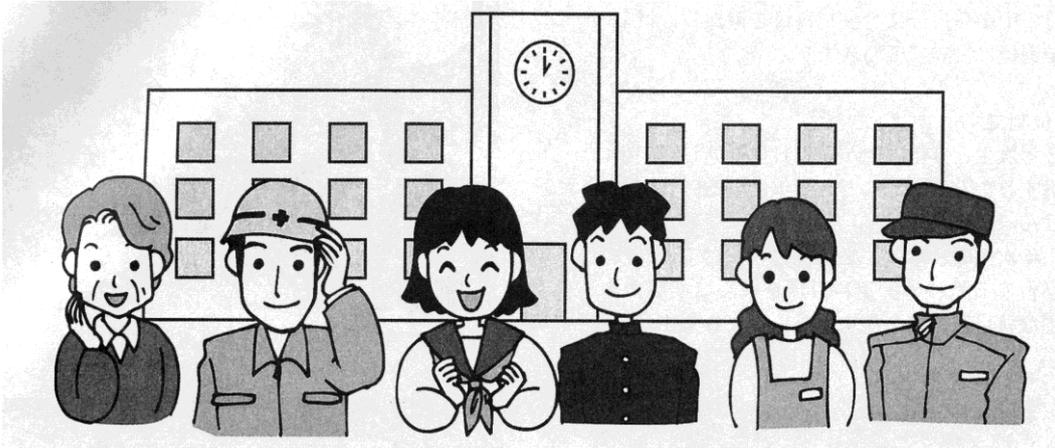


定時制課程

今、定時制が魅力

1 年齢いろいろ、生き方いろいろ

定時制高校は、中学校のような授業の時間帯とは異なり、夜間やその他特別の時間帯に授業を行う高等学校のことです。もともとは働きながら学ぶ人たちのための高校でしたが、現在では様々な人たちが、自分の生活のペースに合わせて学べる高校になりました。中学校を卒業したばかりの人たちだけでなく、高校生活をやり直そうとする人、社会人、子育てや仕事が一段落して、自分にチャレンジするために入学してくる人もいます。年齢いろいろ、生き方いろいろ、豊かな個性あふれる人たちが安心して通える高校、それが定時制高校です。



2 単位制

- (1) 全日制高校では「学年制」をとっている高校が多いですが、県内の関市立関商工高等学校以外の定時制高校が「単位制」をとっています。単位制とは、簡単にいえば、学年ごとの区別はなく、卒業するために必要な科目の授業を受け、必要な単位数を取れば卒業できるというものです。ただし、「単位制」と「学年制」の両方の特長をもつ中間的な学校や、単位を半期ごとにとることができる学校もあります（華陽フロンティア高等学校）。
- (2) 単位制高校では、自分の趣味や進路希望等に応じて科目を選んで時間割を作成することができます。このため、近年、卒業後の進路先は就職だけでなく、大学や各種専門学校への進学も増えています。
- (3) 基礎からしっかり勉強したいとか、より深く勉強したいとか、勉強に対する願いや必要性は人それぞれで異なります。いくつかの定時制課程では、科目選択制をとり、クラス単位でなく、生徒一人一人の興味・関心や進路ニーズに合わせた授業を用意しています。

3 3年間で卒業できる定時制高校もあります

定時制高校は、これまで「4年間かけて卒業する高校」とされてきました。しかし、近年多くの定時制高校で、「3年間で卒業できるシステム」が用意されるようになりました。3年間で卒業する方法としては、学校外での活動や各種検定試験での資格を授業と同じように「単位」として認めたり、就業そのものを「単位」として認めたりする「実務代替」、通信制課程の高校に同時に通い必要な単位を充足していく「定通併修」、高校卒業程度認定試験の合格科目を「単位」として認定する「認定試験」など、学校ごとにいろいろな工夫がなされています。また、3年間で卒業できるように時間制（3修コース）を設定している高校（「華陽フロンティア高校」や「東濃フロンティア高校」等）もあります。



4 学校給食

市立の阿木高校、関商工高校以外の定時制高校には、学校給食の制度が整えられています。このうち、現在では県立岐阜商業、岐阜工業、大垣商業、大垣工業、飛騨高山、華陽フロンティア、東濃フロンティアの7校で「完全給食」が実施され、栄養職員によっておいしく栄養バランスの良い献立が提供されます。



5 入学金などの優遇

	入学考査料	入学金	授業料
定時制	950 円	2,100 円	2,700 円
全日制	2,200 円	5,650 円	9,900 円

(授業料は、収入に応じて支援制度あり。)

この他に、PTA会費、給食費、修学旅行積立金などの学校諸費が必要です。
詳しくは、それぞれの高校にお問い合わせください。

6 経済面での援助制度

一定の基準を満たしている人は、申請することにより、教科書代と食数に応じて給食費の補助を受けることができます。また、経済的に困難で、学習態度が良好な人には、「修学奨励費制度」があり、一定額の貸与が行われ、定時制高校を正規の年数で卒業した場合には返還義務が免除されます。

その他、外部団体が行っている全日制にはない奨学金制度もあります。

